

あなたの支援が 子どもたちの巣立ちを支えます。

ご不要になった本や未使用の家庭用品、
使わないポイントなどでもご支援いただけます。

継続寄付会員

1日約100円
1年間の継続支援

一般寄付

いつでも自由な金額で

遺産などの寄付

相続財産やお香典で

古本などの寄付

不要になった本、CDなど
5冊から可 [送料無料]

ポイントの寄付

使わないVポイントやベネポイントで

生活必需品の寄付

家庭にある新品や物品購入で



親を頼れないすべての
子どもが
笑顔で暮らせる社会へ

一緒に応援しませんか

子どもたちの巣立ちをご寄付により支えてください。
ブリッジフォースマイルへのご寄付は、税制優遇の対象になります。
ご寄付のお申し出は、電話、メール、ウェブサイトにて承ります。



Tel: 03-6842-6766 (平日10時-18時)

Email: info@b4s.jp

URL: <https://www.b4s.jp>

認定NPO法人 ブリッジフォースマイル
〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-30
PASONA SQUARE
東京都認定 NPO4 生都管第 1117 号

Annual Report 2023



認定NPO法人 ブリッジフォースマイル

TOPICS

退所後支援のひとつである「居場所事業」 今年度は、新しい居場所が東京都内に2カ所オープンしました

2023年6月に世田谷区下北沢に「せたエール」、2024年1月に台東区浅草橋に「&YOU あきば」を開設しました。関東圏では横浜に続き3カ所目の居場所となり、月曜日以外はブリッジフォースマイル(B4S)のいずれかの居場所が開所している状態になりました。これにより、親を頼れない若者の孤立を更に防ぎ、自由に交流や意見交換ができる体制となりました。

この2カ所は最寄り駅から徒歩数分ということで立ち寄りやすく、近隣の街並みも活気があり、安全に駅から居場所まで来られる場所です。利用者が気兼ねなく集い、居心地よく、自分らしくいられる居場所にしていきます。

今後は居場所を拠点として継続的に関わりながら、個別相談やカウンセリング、寄付品仲介等のきめ細やかなサポートにつなげていきます。



居場所事業に関する記事は、ウェブサイトからお読みいただけます。



熊本県を対象にした 社会的養護自立支援実態把握事業を行いました

熊本県・熊本市から、社会的養護自立支援実態把握事業を受託しました。運営事務局として、学識経験者、障害者支援、就労支援、心理、社会的養護経験者で構成される連絡協議会を立ち上げ、社会的養護経験者の支援ニーズ等を把握するためのアンケートやヒアリングを含む多様な調査を実施しました。調査結果を報告書にまとめ、今後の熊本県・熊本市に向けて社会的養護施策の提言を行いました。



児童養護施設や里親家庭などで生活していた方・現在生活している方に、自立支援のニーズを調査しました。調査結果より、制度の改正・充実、施設や里親家庭をはじめとする関係者のアフターケアが奏功していることがうかがえました。

業務効率化を図るために 「B4Sプログラムエントリーシステム」を導入しました

プログラム開催数と参加者数の増加に伴い、申込管理や参加前の案内などが、運営の大きな負荷となっていました。大和証券グループ「子どもサステナブル基金」からの助成金をいただき、社会貢献の一環で株式会社Sun Asteriskにシステム開発をしていただき、2023年5月からシステム運用を開始しました。

メール配信の自動化や申込状況が一元管理できる等大幅な業務効率化が進んだ上、施設職員や里親にとっても申込手続きや参加確認がわかりやすく簡単になりました。



一覧で現在募集中のセミナーを確認できるだけでなく、残枠数や開催地、開催日といった詳細もこのページで確認することができます。

熊本に続き 医療連携支援事業を各拠点で開始

メンタル面の課題を抱える支援対象者の増加に伴い、2023年度は前年度開始の熊本に続き、横浜市、世田谷区、東京都の各拠点でも「医療連携支援事業」を開始しました。

この事業では、公認心理師等の心理職を配置し、医療が必要な若者を精神科医療機関につなげるほか、すでに受診している若者についても、受診先と連携しながら、心理カウンセリングを実施しています。また、居場所で利用者の行動観察をし、心理職の立場から、スタッフやボランティアに利用者対応の助言を行う等、スーパーバイザーとしての役割も担っています。

心理カウンセリングは医療機関でも行われていますが、高額のため利用を諦めている若者も多く、本事業によりそうした若者のニーズに応えることができるようになりました。また、メンタルの課題だけでなく、仕事や金銭等、生活上の課題を併せ持っている人にも、既存の生活支援プログラムと本事業とが両輪となって、総合的にサポートできるようになりました。



B4Sの専任スタッフが当事者一人ひとりと直接お会いし、定期的な連絡などを通して「必要な支援は何なのか」をヒアリングしています。

巣立ち支援による実績

2023年度は、巣立ち前の支援とともに、巣立ち後の支援として、新しい居場所を2カ所開所できました。アトモのリアルイベントに参加してくれる子どもも増え、より良い伴走支援に向けて、つながりや交流をさらに深めることができます。

高校3年生向け一人暮らし準備セミナー

巣立ちプロジェクト

参加高校生 **254**人

東京、佐賀、熊本、北海道で実施



ポイントをためて生活必需品をそろえる

トドクン

仲介商品 **769**点

商品の種類 294種

仲介金額 558万円相当



働くイメージを描く仕事体験

ジョブプラクティスセミナー

実施回数 **17**回・参加者のべ **129**人



※セミナー：オンライン開催もあり、短時間で気軽に参加できる。

数日間の仕事体験で自分の興味や得意を知る

ジョブプラクティス デイズ

受け入れ協力企業数 **46**社・参加実人数 **115**人



※デイズ：数日間、一人で仕事現場現地まで通う。

身近な理解者と繋がる＆いつでも立ち寄れる

居場所事業

居場所・イベント参加者のべ **2,156**人

6カ所(よこはまPort For、さが・こんね、かたるベースくまもと、えんがわ、せたエール、&YOU あきば)



同じ境遇の仲間と集うイベント

アトモプロジェクト

イベント開催回数 **12**回・参加退所者のべ **158**人



社会人から楽しく学び巣立ちの不安を解消する

自立支援セミナー

実施回数 **167**回・参加者のべ **961**人

東京、佐賀、熊本で実施



社会人と一緒に住むシェアハウス事業

スマイリングプロジェクト

入居者：退所者 **3**人

社会人 **3**人



ナナメの関係で気軽に話せる個別サポート

自立ナビゲーション

利用退所者 **104**人

東京、佐賀、熊本で実施



学費の不安解消と卒業まで定期的な面談を行う

奨学金支援プログラム

奨学生 **31**人、協力企業 **3**社



困りごとを解決するための個別サポート・LINE相談

相談支援

対応件数 **8,158**件、実人数 **578**人



各プロジェクトの詳細は、
ウェブサイトでお読みください。



Lさん(26歳)

Sくん(18歳)



ブリッジフォースマイルでは、退所後の子どもたちが ホッとできる“居場所”をつくる、支える活動をしています

2023年6月に東京都・下北沢に居場所「せたエール」、2024年2月に東京都・浅草橋に居場所「&YOU あきば」が誕生しました。2024年5月現在、新たに北海道・札幌での居場所開所準備が進んでいます。B4Sの居場所は全国6カ所で運営をしています。

GWの後半、5月5日こどもの日。せたエールでは手巻き寿司パーティーが企画されていました。14時の開所と同時にやってくる人、アルバイトを終えてからかけつける人、電車を2本乗り継いでやってくる人。それぞれの「せたエール」について話してもらいました。

「B4Sが運営している居場所なんだ」とすんなり入り込めた

【Lさん(26歳)】
“せたエールに来るようになって9カ月になります。体調的に行けないときもあるけれど、週1回くらいは来ています。最初は同じ施設だった友だちに「下北沢に遊びにいかない？」という感じで、よくわからずに連れて来られました。でも実は、私とB4Sの関係は昔からあって、施設にいたころB4Sが施設内で開催していた「リスク管理」や「就活セミナー」に私は参加していました。だからせたエールにはじめて来たとき「あ、B4Sが運営している居場所なんだ」と、すんなり入り込めた感じはあります。私は絵を描くのが好きでよく描いています。ある時、スタッフの人が「これ、すごい好き」と褒めてくれたのでプレゼントしたら、額に入れてせたエールに飾ってくれました。今、せたエールには私の絵がいくつも飾ってあって、それがとても嬉しいです。深刻というほどではないけれど、親との関係をちょっと相談したいと思うときに話せる関係ができてスタッフもいますもいます。”

料理が得意な彼女は、調理時間になると何気ない感じでキッチンの様子をうかがっています。手がなくて大変そ

うだなと感じると「切ろうか？」と声をかけます。ファミリーレストランでのアルバイト経験が長く、手際よく、時にはコツを伝授しながら調理をしている姿をよく見かけます。

【T君(21歳)】
“僕は1年くらい前から一人暮らしをしています。基本、自炊生活なので、食材の寄付をしてくれるところを探していました。2カ月前にB4Sの居場所を紹介してもらって、それからせたエールと&YOU あきばの両方を利用しています。精米したてのお米や、レトルト食品、時には野菜なんかをもらって帰ります。もちろん、ここでみんなと食べる食事も嬉しいし、楽しいです。料理上手なスタッフが多くて、この間食べた唐揚げなんかは「やばい！」って、みんなで騒ぐほど美味しかったです。正直、一人暮らしはめっちゃ寂しくて、孤独との戦い。施設で暮らしていたときは、あんなに「一人暮らしがしたい！」って思っていた、念願の一人暮らしだったのに…。こんなに孤独だとは思わなかったという感じです。だから、時間があって、気力があるときは、居場所に行きたい。誰かと話せるのが嬉しいから。いろんな人がいるけれど、僕はでき

るだけ接点を見つけて仲良くなりたいたいタイプ。話せそうだなって思ったら、自分から話しにいきます。夕飯後に自然発生的にはじまるボードゲームやトランプも、楽しみのひとつかな。あとは、小さい頃の苦しかった話とか、スタッフの人にたまに聞いてもらうこともあって、それも大事な時間。”

屈託のないように見える彼から、孤独と戦っているという言葉が出たときに、彼が居場所に来てくれて本当に良かったと感じました。一人暮らしの話をそばで聞いていた、現在会社の寮生活中のS君が「一人暮らしするときに大事なことってなんですか？」と興味津々で質問していました。「自分の生活にあったものを買うことかな」と答えるT君。洗

を干す作業はしたくない、と頑なに思っていたので、高いけれどもドラム式の乾燥付き洗濯機を購入して、それが結果とても良かったという話をT君がしたところ、S君はますます一人暮らしの夢が広がっているようにみえました。



夕食の準備を手伝うSくん

みんなが思い思いに自由に過ごせる居場所

【S君(18歳)】
“2023年度の巣立ちプロジェクトに参加していました。この4月にあったBBQアトモに参加して、そこで居場所のことを教えてもらい、せたエールに来るようになりました。最初来たときに、お茶を出してもらいました。それがなんかとっても嬉しかった！僕、招かれてるなあって。快適でフレンドリーな感じのここが、すぐ大好きになりました。みんなが思い思いに自由に過ごせている感じが、ほんとに最高です。あと、Wi-Fiがあることもめちゃくちゃ嬉しい！僕は施設を退所して、そこからすぐ職場の寮に入って生活しています。平日は仕事でヘトヘト。居場所に来るのはもっぱら週末です。そうそう、僕は社会人になったので、トドクンのポイントを使って、AOKIのスーツをいただきました。「社会人として、

スーツは絶対に必要だよな」って思っていたので、迷わず選びました。”

寮には門限があるため、居場所閉所時間の20時までは居られません。みんなより少し早めに、名残惜しそうに帰ります。居場所のなかでは若めのS君は、利用者・スタッフ・社会人ボランティア、みんなの話を興味深く聞いています。平日は仕事を頑張っている彼の話を聞いているスタッフは、とてもうれしそうです。

S君以外にも、働くことが困難だった利用者が「連続5日間勤務ができた」というような報告を、ポツリとスタッフにこぼすことがあります。困っていることだけではなく、嬉しいこと、頑張っていること、いろんなことを共有できる場となっている

ここにいる大人誰もが温かくて、ありがたいなって思っています

【M君(18歳・高校3年生)】
“自分は今、里親家庭にいます。里親の母が「今後の自立のために役立つと思うから行ってみたら？」とすすめてくれました。翌日学校が休みのときや、長期休み中にせたエールを利用しています。コミュニケーションの練習にもなっているかな。B4Sの仕事体験に今まで何度も参加させてもらっています。スタッフも何人か知っていて、B4Sの居場所だったから行くことへのハードルが低かったかもしれません。ここにいる大人誰もが温かくて、ありがたいなって思っています。せたエールを一言で言うなら「サイコー！」かな。せたエールがなかったら、つまらない日々になっちゃうから。”

B4Sのスタッフと、ボランティアの区別は彼らには無いと言います。自分たちを支援してくれる大人たち。どの人のことも「大好き」と言います。食事への考えも変わるようで、居場所に来てから野菜が食べられるようになったというような声もあります。みんなで献立を考えて、作って、食べるというプロセスの中に、たくさんの要素がありそうです。心も体も元気になって、また明日をがんばろう！と少しでも思っ帰ってくれることが、せたエールのスタッフ全員の願いです。快適でありつつも、いつか居場所に行くことも忘れ、それぞれがそれぞれの場所で充実して生活してくれることを祈っています。



ブリッジフォースマイルの活動の成果とは ビジョンの実現に向けた取り組み

活動の成果を細分化し、目標達成への道筋を可視化

ブリッジフォースマイルのビジョン・ミッション、掲げた目標に対して、各活動がどのような成果を出すことができるかを「ロジックモデル」(※1)にまとめ、「社会的インパクト」(※2)可視化の取り組みを進めています。

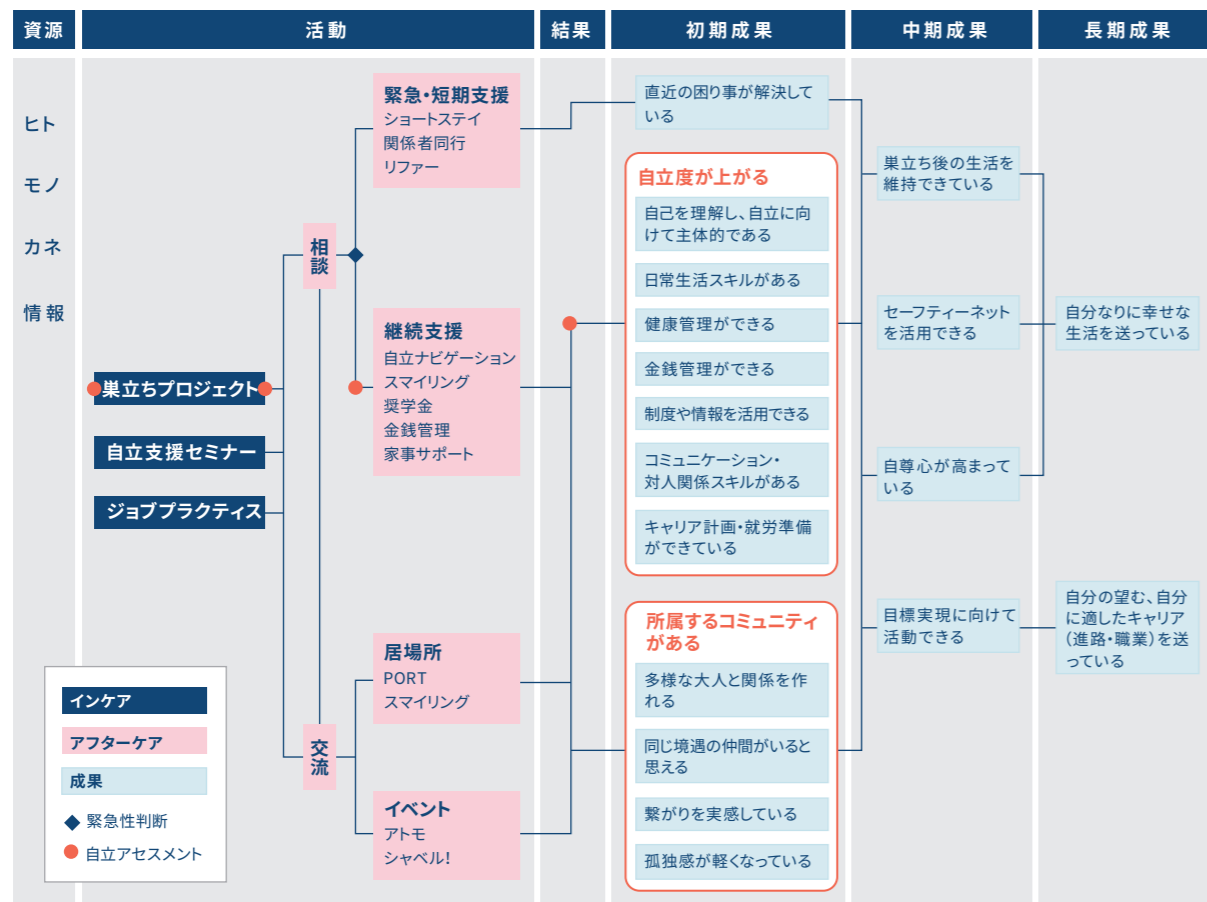
親を頼れない子どもたちへの巣立ち支援においては、長期成果として「自分なりに幸せな生活を送っている」「自分の望む、自分に適したキャリア(進路・職業)を送っている」の2項目とそれにつながる中期成果と初期成果

を設定。支援を受けた子どもたちにどのような変化をもたらしたのか、支援活動の前後、もしくは年次アンケートで調査します。

社会的インパクトを可視化することで、関係者間の認識を揃えたり、効果検証、改善案の検討を行ったりしてPDCAを回し、支援対象者により効果的な活動を行えるようになりました。

※1ロジックモデル：投資した資源(人、モノ、お金)が、望ましい効果を生み出すまでに論理的にどのような順序をたどるかを示すための設計図
 ※2社会的インパクト：事業や活動の結果として生じた社会的、環境的な成果(価値、効果、変化、便益、学びなど)のこと

巣立ち支援のロジックモデル

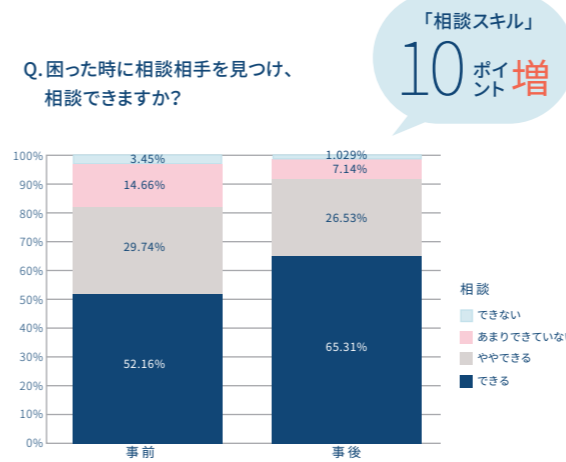


各プログラムの目標に沿った成果を得ることができました

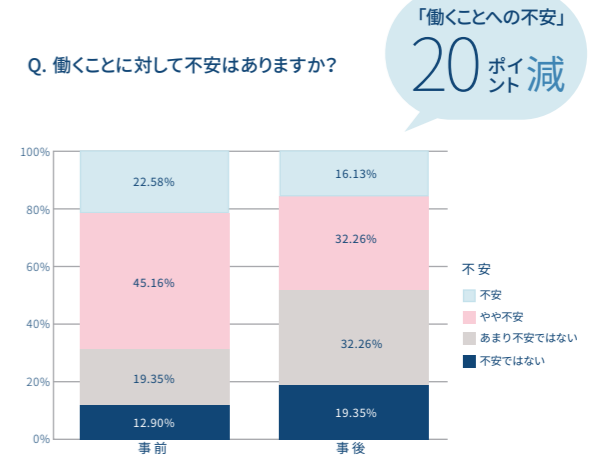
社会的インパクトを可視化するにあたって、プログラムに参加する子どもたちに、参加前後でアンケート調査を実施しています。

このアンケート結果をもとに、子どもたちの内面がどのように変化し、それによってどのような成果が得られたのかを数値化し、活動の改善に活かしています。

高校3年生向けの一人暮らし準備セミナー「巣立ちプロジェクト」



働くイメージを描く、多種多様な仕事体験「ジョブプラクティス」



支援の更なる強化 相談支援の基準・フローを策定し、運用を開始

2024年4月から改正児童福祉法の施行に伴い、支援対象者の年齢制限が撤廃されることになりました。私たちは、支援の対象を「社会的養護出身者」から「親を頼れず困っている若者全般」へと広げ、支援を拡大・拡充していくことを決めました。

これからの支援を「相談(問題解決)と交流を柱にした支援」に位置付け、一人ひとりの問題やよりニーズに合った支援プロセスを提供できるように、2023年度から相談

支援の強化に取り組んでいます。最初の取り組みとして、相談者の状況を把握するための「自立度チェックシート」を作成し、レーダーチャートで可視化できるようにしました。その結果を本人や関係者と共有しながら、一緒に解決すべき問題の特定、個別の支援メニューの提供、支援計画の作成、外部機関との連携など、支援の質の向上に取り組んでいます。また、継続支援と緊急支援の2軸のフローを策定し、運用を開始しています。



子どもを支える大人を増やす 「伴走者の育成」

ブリッジフォースマイルでは、親を頼れない子どもたちへの巣立ち支援だけでなく、社会全体で子どもたちを支えられるように、社会人ボランティア、職員、里親など、子どもたちに関わる大人たち「伴走者」の育成にも力を入れています。子どもたちのことを理解し、支援者としての心構えや知識、必要なスキルを身に付け、継続的に伴走できる大人が増えれば、より多くの子どもたちを支援できるからです。

伴走者の育成のための運営体制を整え、長年の支援で培ったノウハウを活かしたボランティア・一般向けのスキルアップ研修や、児童養護施設職員・里親向けのセミナー、施設職員勉強会などを行っています。また、ボランティア向けのイベントや座談会などを開催し、ボランティアが活動しやすい環境を整えています。

スキルアップ研修



傾聴やコミュニケーション、子どもと関わる際のリスクやトラブル対策、社会保障や奨学金などの社会資源についての知識を得る講座など、多様な研修を開催しています。

サンクスフェスティバルの開催



多大な協力をいただいているボランティアのみなさんに感謝の気持ちをお伝えする会として「サンクスフェスティバル」を開催しました。

子どもたちとの関わり

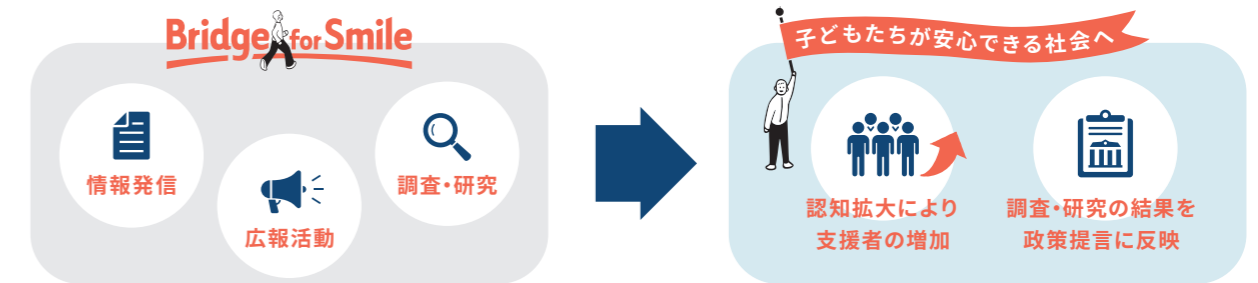


巣立ち前の準備から、施設や里親家庭などを出たあとの巣立ち後の継続的な支援まで、さまざまなプログラムを通して、子どもたちと関わり、伴走しています。(写真はアトモプロジェクトの活動の様子 左:BBQ イベント 右:クリスマスパーティー)

子どもを支える社会をつくる 「広報・啓発活動」

社会的養育への正しい認識と関心を広め、親を頼れない子どもたちが安心して社会に巣立つことができる社会をつくるための情報発信や広報活動、調査・研究などを行っています。

より多くの子どもたちに必要な支援を届けるためには、安定した組織運営が不可欠です。事業規模の拡大に伴い、今まで以上に私たちの活動を支えていただいている、社会人ボランティア、寄付者、協力企業など、応援していただける支援者の方たちの存在が重要になっています。私たちの活動を知ってもらい、応援者になっていただくために、わかりやすい発信に努めていきます。



子どもたちの声を届ける「コエール」

「コエール」は、親を頼れなかった当事者が、子どもたちが抱える社会問題の解決に向けて、自らの経験を基にスピーチをし、行動する仲間を増やす、広報・啓発のオンラインイベントです。

2019年から毎年開催し、2023年は「居所不明児童」と「シングルマザー家庭への支援不足」をテーマに、2人の当事者がスピーチをしました。869名の視聴申し込みがあり、多くの方に当事者の声を届けることができました。

2024年からは、社会問題に紐づいた当事者の体験スピーチ動画をWeb上で公開。教育機関、企業、地域など、あらゆるコミュニティでワークショップを開催し、参加者が当事者とともに社会問題への理解を深め、考え、行動のヒントにつながる内容にリニューアルします。



スピーチ原稿の作成に向けた合宿の様子



当日の第1部 スピーチをした2人



当日の第2部「子どもと家庭を支援する現場から」座談会

ご協力いただいた企業・団体について

2023年度は166の企業・団体のみなさまにバックアップしていただきました。
いつもあたたかいご支援をありがとうございます。

166

協賛企業・団体	協力企業・団体
RBCキャピタルマーケット証券会社<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>	株式会社アーバンファーム八王子<プログラム運営協力>
株式会社ITXジャパン<物品協賛>	社会福祉法人愛光学舎<プログラム運営協力>
アイディール・リーダーズ株式会社<資金協賛・助成金>	藍の村観光株式会社<プログラム運営協力>
株式会社AOKI<物品協賛>	麻布台 中むら<プログラム運営協力>
株式会社あおぞら銀行<資金協賛・助成金>	株式会社アップルツリーファクトリー<ファンドレイジング支援>
アドビ株式会社<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>	アライアンス・バーンスタイン株式会社<プログラム運営協力>
アマゾン ジャパン合同会社<資金協賛・助成金>	株式会社ARIGATOBANK<ファンドレイジング支援>
有限会社石川商店<物品協賛>	株式会社アンド.トゥービー<プログラム運営協力>
株式会社INPEX<物品協賛>	犬のしつけHAGU <プログラム運営協力>
株式会社えがお<資金協賛・助成金>	イラストレーター植木美江<プログラム運営協力>
SCSK株式会社<資金協賛・助成金>	株式会社ウカ<プログラム運営協力>
SCSKグループ社会貢献活動クラブEarthOne<資金協賛・助成金>	株式会社 H&F CREATE <プログラム運営協力>
おてらおやつクラブ<物品協賛>	AIG損害保険株式会社<プログラム運営協力>
ORANGE WALK2023<資金協賛・助成金>	株式会社エーディーエモーション<プログラム運営協力>
花王株式会社<資金協賛・助成金>	SAP ジャパン株式会社<プログラム運営協力>
カルビー株式会社<資金協賛・助成金、物品協賛、プログラム運営協力>	エネラボ株式会社<ファンドレイジング支援>
キャリアインキュベーション株式会社<資金協賛・助成金>	公益財団法人荏原島山記念文化財団<プログラム運営協力>
社会福祉法人熊本県共同募金会<資金協賛・助成金>	株式会社エフエスユニマネジメント<プログラム運営協力>
公益社団法人熊本善意銀行<資金協賛・助成金>	株式会社エフエム佐賀<プログラム運営協力>
グンゼ株式会社<物品協賛>	エンジツ物流株式会社<プログラム運営協力>
有限会社ケイ・ティ・シー麻布かどわき<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>	特定非営利活動法人おおもり子どもセンター<プログラム運営協力>
KOYO証券株式会社<物品協賛>	株式会社カムデザイン<プログラム運営協力>
有限会社コーフィール<資金協賛・助成金>	特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド<プログラム運営協力>
コクヨ株式会社<資金協賛・助成金、物品協賛>	木月キッチン<プログラム運営協力>
札幌市地域福祉振興基金<資金協賛・助成金>	着付け隊<プログラム運営協力>
ザ・リッツ・カールトン東京<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>	木寺石油株式会社<プログラム運営協力>
三洋貿易株式会社<資金協賛・助成金>	きものと帯えがしら<環境設備支援>
公益財団法人CBGMこども財団<資金協賛・助成金>	ギャップジャパン株式会社<プログラム運営協力>
株式会社JSOL<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>	gooddo株式会社<ファンドレイジング支援>
シチズン時計株式会社<物品協賛、プログラム運営協力>	熊本市動植物園<プログラム運営協力>
シュウウエムラコスメティックス株式会社<物品協賛>	グランデはがくれ<プログラム運営協力>
株式会社スタイルテック<資金協賛・助成金>	グランド ハイアット 東京<プログラム運営協力>
世田谷区社会福祉協議会 北沢地区<物品協賛>	こうご動物病院<プログラム運営協力>
株式会社ZOZO<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>	神野公園こども遊園地<プログラム運営協力>
社会福祉法人中央共同募金会<資金協賛・助成金>	国際自動車株式会社<プログラム運営協力>
	株式会社ココファーム<プログラム運営協力>
	こどもサポート証券ネット<ファンドレイジング支援>
	こどもの本屋 てんしん書房<プログラム運営協力>
	認定NPO 法人こまちぶらす<プログラム運営協力>
	サイボウズ株式会社<プログラム運営協力>
	サガン・ドリームス<プログラム運営協力>
	株式会社 佐藤産業<プログラム運営協力>
	ザ・プロアクティブカンパニー株式会社<プログラム運営協力>
	株式会社 Sun Asterisk<環境設備支援>
	下高井戸シネマ<プログラム運営協力>
	認定NPO 法人 JUON(樹恩) NETWORK<プログラム運営協力>
	情報印刷株式会社<環境設備支援>
	スタジオ・ディーバ<プログラム運営協力>
	株式会社スリムビューティハウス<プログラム運営協力>
	株式会社セールスフォース・ジャパン<ファンドレイジング支援>
	株式会社セレス<ファンドレイジング支援>
	一般社団法人創発環境創造機構「J45」<プログラム運営協力>
	有限会社 園田電設<プログラム運営協力>
	損保ジャパン<プログラム運営協力>
	寶紙業株式会社<プログラム運営協力>
	株式会社武井工務所<プログラム運営協力>
	株式会社立飛ホスピタリティマネジメント<プログラム運営協力>
	立尾電設株式会社<プログラム運営協力>
	株式会社Dirbato<組織運営支援>
	株式会社デサフィオ<ファンドレイジング支援>
	株式会社東京スター銀行<プログラム運営協力>
	株式会社 都市テクノ<プログラム運営協力>
	株式会社ナチュラルスタンス<プログラム運営協力>
	日本証券業協会<ファンドレイジング支援>
	株式会社ノンストレス<プログラム運営協力>
	公益財団法人ハーモニーセンター<プログラム運営協力>
	ハイアット セントリック 銀座 東京<プログラム運営協力>
	株式会社パソナグループ<プログラム運営協力、環境設備支援>
	Backen Heim ボルガ<プログラム運営協力>
	株式会社バリューブックス<ファンドレイジング支援>
	PwC Japanグループ<プログラム運営協力、ファンドレイジング支援>
	ピクテ・ジャパン株式会社<プログラム運営協力>
	日野・子どもと家族法律事務所<プログラム運営協力>
	BEAUTY SALON ふるかわ<プログラム運営協力>
	株式会社フジテレビジョン<プログラム運営協力、ファンドレイジング支援>
	フラワーショップ いしぐろ<プログラム運営協力>
	フラワー花友<プログラム運営協力>
	プリモグローバルホールディングス株式会社<プログラム運営協力>
	株式会社フロンティアスピリット<プログラム運営協力>
	株式会社ベネッセビジネスメイト<プログラム運営協力>
	Benevity<ファンドレイジング支援>
	株式会社ベネフィット・ワン<ファンドレイジング支援>
	ベルフレッシュ株式会社<プログラム運営協力>
	ホワイトバレス<プログラム運営協力>
	マザーズミルク<プログラム運営協力>
	有限会社ミュージズプランニング<プログラム運営協力>
	明和電機工業株式会社<プログラム運営協力>
	株式会社メテム<環境設備支援>
	株式会社 more<プログラム運営協力>
	モルガン・スタンレー MUFG証券株式会社<プログラム運営協力、ファンドレイジング支援>
	ヤフー株式会社(Yahoo! ネット募金)<ファンドレイジング支援>
	ユーザーライク株式会社<ファンドレイジング支援>
	横浜市消防局 泉消防署<プログラム運営協力>
	横浜シネマリン<プログラム運営協力>
	公益財団法人横浜YWCA<プログラム運営協力>
	株式会社楽堂<プログラム運営協力>
	Lavie 合同会社<プログラム運営協力>
	竜之介動物病院<プログラム運営協力>
	ロワール商会株式会社<プログラム運営協力>
	ワークスタイルテック株式会社<プログラム運営協力>

会計報告

(2024年3月31日現在)

活動計算書

(単位：円)

経常収益	
受取会費	1,051,000
受取寄付金	84,900,020
受取助成金	11,770,071
事業収益	154,227,799
その他収益	2,259
経常収益計	251,951,149

経常費用	
事業費 人件費	136,474,932
その他費用	86,610,836
管理費 人件費	18,591,940
その他費用	15,215,634
経常費用計	256,893,342

当期経常増減額 4,942,193

貸借対照表

資産の部	
流動資産	
現金	137,358
小口現金	415,677
普通預金	25,530,793
定期預金	85,048,480
未収金	19,249,573
棚卸し資産	260,260
貯蔵品	168,000
前払費用	1,827,772
流動資産合計	132,637,913
固定資産	
有形固定資産	7,056,377
無形固定資産	5,014,810
その他の資産	10,084,420
固定資産合計	22,155,607

資産合計 154,793,520

負債の部	
流動負債	
未払い金	9,845,084
前受け金	1,446,657
源泉税預かり金	79,182
社保預り金	1,669,026
雇用保険預り金	741,186
未払い法人税	400,600
未払い消費税等	3,902,600
預り金	12,000
流動負債合計	18,096,335
固定負債	
長期借入金	350,000
受入保証金	470,000
奨学金引当金	1,050,000
特別奨学金引当金	1,460,000
固定負債合計	3,330,000

正味財産の部	
指定正味財産	20,752,824
一般正味財産	112,614,361
正味財産合計	133,367,185

負債及び正味資産合計 154,793,520

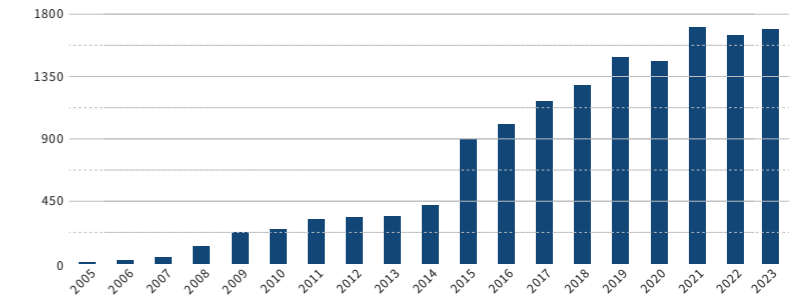
活動のあゆみ

ブリッジフォースマイルの活動は、多くの方に支えられています。

【プログラム利用者数】

2023年度

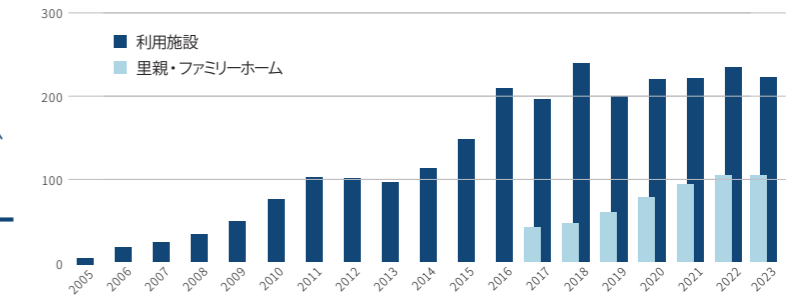
1747人



【プログラム利用施設 / 里親数】

2023年度

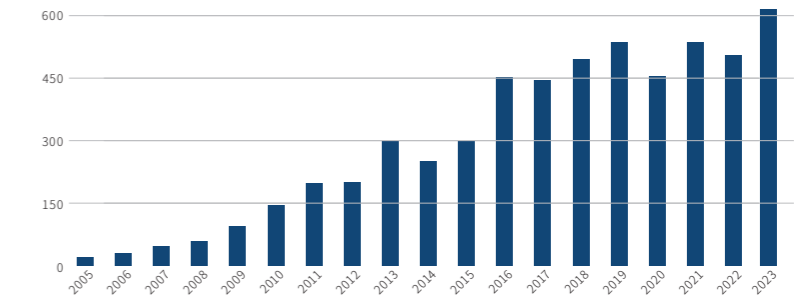
利用施設 222
里親・ファミリーホーム 104



【ボランティア登録者数】

2023年度

625人



[スキルアップ研修] 実施回数 42回 参加者 のべ754人

[施設職員・里親向けセミナー] 実施回数 14回 参加者 のべ257人 (東京・横浜・熊本で実施)

[施設職員勉強会] 実施回数 10回 参加者 のべ734人

[江戸川区研修運営] 運営支援回数 22回 参加者 のべ372人 (江戸川区行政受託「職員の研修及び人材育成管理業務」)

ごあいさつ

2024年4月から「社会的養護自立支援拠点事業」が始まりました。ケアラーバー(施設や里親家庭などの出身者)や虐待を受けていながらこれまで福祉に繋がらなかった人たちを対象とし、困りごとの相談にのったり、当事者間の交流を促したりする事業です。現在、私たちは全国8つの行政区から事業を受託しています。

しかし、この制度が全国で普及するにはまだまだ時間がかかりそうです。その間、地域格差は広がるのが予想されます。子どもは生まれ育つ環境を選ぶことができません。出身地が違うだけで受けられない支援があるのは不条理です。

そのような移行期だからこそ、「安心の格差」と「希望の格差」の解消を目指して活動してきた私たちは、民間の柔軟性をもって、この不条理をなくす支援を全力で実現させたいと考えています。そして、私たちの実践が自立に向けて効果がでているかを検証し、データやノウハウを積極的に開示してまいります。

親を頼れない子どもたちが安心と希望を持てる社会制度が早く広く普及するよう、ぜひみなさまのお知恵とお力を貸してください。引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。



代表 林 恵子

団体概要

名称	特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル(東京都認定NPO4生都管第1117号)	
URL	https://www.b4s.jp	
Email	info@b4s.jp	
本部	東京都港区南青山3-1-30 PASONA SQUARE	☎ 03-6842-6766
横浜オフィス	神奈川県横浜市西区高島2-5-5-203	☎ 045-548-8011
佐賀オフィス	佐賀県佐賀市駅南本町5-5-506	☎ 0952-26-8166
熊本オフィス	熊本県熊本市中央区幸島町6-2-901	☎ 096-288-4627
北海道オフィス	北海道札幌市北区北七条西1-11-1204	☎ 011-768-7042
世田谷オフィス	東京都世田谷区北沢2-10-15-614	☎ 03-6407-0901
秋葉原オフィス	東京都台東区柳橋1-6-2-401	☎ 090-2016-4175

役員(2024年6月30日現在)

理事 林恵子(理事長)、菅原亜弥(副理事長)、武田智成、鈴木匠、瀬藤順史、川尻未来
監事 藤田正男、石本忠次

会員数など(2024年3月31日現在)

事務局スタッフ 57人(常勤40人) / 正会員 22人 / 継続寄付会員数 540人